

記者発表資料（資料配布）				
発表日	担当課名	電話	発表者名（担当者）	その他配布先
9月17日（火）	病院局経営課	078-362-3301 内線3464	経営課長 市川 裕造 （経営班長 田路 修康）	阪神南、東播磨、中播磨、西播磨、丹波、淡路各県民局（県民センター）

令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について

1 経営状況（13病院）

令和5年度は、はりま姫路総合医療センターのフルオープン（4月）等により医業収益は増加したものの、これまで県の要請に応じ多くの病床を確保してきた（県全体の14.7%となる延べ90,445人を受け入れ）新型コロナウイルス感染症の病床確保料（空床補償）が、5類移行に伴って大幅に減少し、また、通常診療再開後は、患者の受療行動の変化等によりコロナ以前の水準まで病床利用率が回復しないなど、想定した収益が確保できなかった。

さらに、近年の物価高騰や賃金上昇などで費用は増加傾向が続いているものの、診療報酬制度の下ではその費用の増加を料金に転嫁できないことなどもあり、病院事業収支は大幅に悪化した。

これらの結果、91億円の経常損失、94億円の純損失となった。

【決算状況（13病院）】

（単位：百万円）

区分	令和4年度	令和5年度	前年度比較		
			増減	割合（%）	
経常収益	入院収益	84,598	92,746	8,148	109.6
	外来収益	38,198	39,809	1,611	104.2
	その他医業収益	2,567	2,737	170	106.6
	医業収益計	125,363	135,292	9,929	107.9
	一般会計繰入金	16,392	16,264	△128	99.2
	その他収益	19,377	11,546	△7,831	59.6
	うち病床確保料	9,692	1,140	△8,552	11.8
合計①	161,132	163,101	1,969	101.2	
経常費用	給与費	79,265	81,211	1,946	102.5
	材料費	44,012	47,885	3,873	108.8
	経費	27,130	27,641	511	101.9
	その他医業費用	11,404	13,081	1,677	114.7
	医業費用計	161,811	169,818	8,007	104.9
	その他費用	2,296	2,373	77	103.4
	合計②	164,107	172,191	8,084	104.9
経常損益③（①－②）	△2,976	△9,090	△6,114	—	
特別利益④	2,307	274	△2,033	11.9	
特別損失⑤	7,871	602	△7,269	7.6	
当期純損益⑥（③＋④－⑤）	△8,540	△9,417	△877	—	

※ 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

（単位：百万円）

区分	尼崎	西宮	加古川	姫路	丹波	淡路	こころ	こども	がん	粒子線		10病院計	指定管理			計	
										たつの	神戸陽子		災害	リハ中	リハ西		
R4 決算	経常損益	1,149	△144	1,356	△4,163	100	90	170	△49	△35	△955	△494	△2,976	0 (6)	0 (87)	0 (△58)	△2,976 (35)
	純損益	1,159	△131	1,370	△7,477	△2,190	87	175	△55	△30	△955	△494	△8,540	0 (6)	0 (87)	0 (△58)	△8,540 (35)
R5 決算	経常損益	△1,315	△1,028	△1,134	△2,407	△870	△454	△179	△87	△279	△919	△418	△9,090	0 (△25)	0 (41)	0 (△17)	△9,090 (△1)
	純損益	△1,537	△827	△1,190	△2,453	△1,008	△486	△202	△93	△284	△919	△418	△9,417	0 (△25)	0 (41)	0 (△17)	△9,417 (△1)

※1 () 書きは指定管理病院の決算を記載

※2 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

【業務量(13病院)】

区 分		単 位	令和4年度	令和5年度	前年度比較
入院	病床数(年度末)	床	4,290	4,394	104
	病床利用率	%	74.8	78.6	3.8
	延患者数	人	1,164,615	1,263,463	98,848
	1日当たり患者数	人/日	3,190	3,452	262
	平均在院日数	日	12.8	12.8	0.0
	入院単価	円	77,967	78,538	571
外来	延患者数	人	1,710,433	1,744,458	34,025
	1日当たり患者数	人/日	7,037	7,179	142
	外来単価	円	23,154	23,609	455

2 資本的収支の決算状況

(単位：百万円)

区 分		令和4年度	令和5年度	前年増減	主な増減理由
収入	企業債	12,343	10,731	△ 1,612	はりま姫路総合医療センター整備完了に伴う減
	負担金	7,240	6,990	△ 250	一般会計負担金の減
	その他収入	564	1,040	476	西宮新病院建築工事開始に伴う補助金の増
	合 計	20,148	18,761	△ 1,387	
支出	建設改良費	13,313	12,478	△ 835	はりま姫路総合医療センター整備事業△6,367(6,549→182) 西宮総合医療センター(仮称)整備事業+5,818(651→6,469) がんセンター建替整備事業+334(37→371) 医療機器整備事業△465(5,543→5,078)
	企業債償還金	10,166	11,546	1,380	はりま姫路総合医療センター医療機器償還開始に伴う増
	その他支出	136	115	△ 21	医師修学資金貸付金等の実績減
	合 計	23,616	24,139	523	
差 引	△ 3,468	△ 5,377	△ 1,909		

※ 計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

3 累積欠損金、内部留保資金等

令和5年度末の累積欠損金は、令和5年度の当期純損益(税抜き)が94億円の赤字となったことから496億円となり、204億円の債務超過となった。

また、内部留保資金の残高は、69億円減少し、令和5年度末で33億円となった。

(単位：百万円)

区 分	令和4年度	令和5年度
当期純損益	△ 8,552	△ 9,417
累積欠損金	△ 40,154	△ 49,571
資本合計	△ 11,216	△ 20,356
内部留保資金残高	10,293	3,348

※ 金額は損益計算書ベース(税抜き)で作成

4 令和6年度の取組について

令和6年度も給与改定による給与費の増や物価高騰の継続等、厳しい経営環境が見込まれるが、これまでの収益確保及び費用抑制による収支改善に向けた取組みに加え、本年5月に設置した「県立病院経営対策委員会」において病院経営、企業経営、運営実務の専門家から助言・提言を受けながら、収支改善方策の検討等を行い、各病院と病院局が一体となった経営改善に取り組むことで、持続可能な経営の確保に努める。

同時に、全国的に自治体病院の経営環境が大幅に悪化していることを踏まえ、構造的問題の解決に向け、率先して国への要望活動等も行っていく。

記者発表（資料配布）

月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/17 (火)	尼崎総合医療センター 経営企画部	代表 06-6480-7000 内線 4049	管理局長 和泉 秀樹 (経営企画部長 瀧口 直彦)	県政記者 クラブ

令和5年度 県立尼崎総合医療センターの経営状況について

1 経営状況

- 経常収益は、新型コロナウイルス感染症による患者の受療行動の変容により外来患者数は減少したものの、入院患者数の増加により医業収益が増加した一方、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金の減少により、前年度から906百万円減少し、37,863百万円となった。
- 経常費用は、医業収益の増加に連動した材料費の増加に加え物価高騰や賃金上昇という社会経済情勢の影響による給与費、経費の増加により前年度から1,559百万円増加し39,179百万円となった。
- その結果、経常損益は、前年度から2,464百万円悪化し、1,315百万円の赤字となった。
- また、令和4年度給与費の計上年度誤り分等を特別損失に計上したことにより純損益は、前年度から2,696百万円悪化し1,537百万円の赤字となった。

区分	単位	令和4年度	令和5年度	前年度比較			
				増減	割合(%)		
業務量	病床数(年度末)	床	730	730	0	100.0	
	入院	延患者数	人	223,390	234,767	11,377	105.1
		1日当たり患者数	人	612	641	29	104.7
		新規患者数	人	21,174	22,071	897	104.2
		平均在院日数	日	9.5	9.6	0.1	101.1
		診療単価	円	97,289	100,082	2,793	102.9
	外来	延患者数	人	458,221	448,828	△9,393	98.0
		1日当たり患者数	人	1,886	1,847	△39	97.9
		新規患者数	人	33,783	34,170	387	101.1
	診療単価	円	20,866	20,233	△633	97.0	
経常収益	入院収益	百万円	21,733	23,496	1,763	108.1	
	外来収益	百万円	9,561	9,081	△480	95.0	
	その他医業収益	百万円	595	640	45	107.6	
	医業収益計	百万円	31,890	33,217	1,327	104.2	
	一般会計繰入金	百万円	2,906	2,847	△59	98.0	
	その他収益	百万円	3,973	1,799	△2,174	45.3	
	合計①	百万円	38,769	37,863	△906	97.7	
経常費用	給与費	百万円	18,343	18,805	462	102.5	
	材料費	百万円	11,832	12,433	601	105.1	
	経費	百万円	5,111	5,342	231	104.5	
	その他医業費用	百万円	1,986	2,231	245	112.3	
	医業費用計	百万円	37,271	38,811	1,540	104.1	
	その他費用	百万円	349	367	18	105.2	
	合計②	百万円	37,620	39,179	1,559	104.1	
経常損益③(①-②)	百万円	1,149	△1,315	△2,464	-		
特別利益④	百万円	20	8	△12	40.0		
特別損失⑤	百万円	9	230	221	2,555.6		
純損益⑥(③+④-⑤)	百万円	1,159	△1,537	△2,696	-		

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

①医療の効率性向上

- ・PFM (Patient Flow Management) による適正な平均在院日数の確保 (R4 9.5日→R5 9.6日)
- ・DPC入院期間Ⅲ期及びⅢ期超えの適正な水準の確保 (R4 21.5%→R5 23.8%)
- ・クリニカルパス適用率の拡大 (R4 69.4%→R5 70.8%)

②オペ室の効率的運用

- ・オペ室運用分析に基づく稼働率向上
- ・外保連指数の向上

③診療材料費の適正化

- ・ベンチマークシステムを活用した値引き交渉の強化

(2) 施設・医療機器の整備

- ①遠隔操作型内視鏡下手術支援システム (ダヴィンチ) の更新 (約258百万円、令和5年6月)
- ②抗がん薬混合調整ロボットの整備 (約78百万円、令和6年3月)
- ③サテライト心エコー室整備 (約12百万円、令和5年9月)

3 今後の取組

①医療の効率性向上

- ・PFMによる平均在院日数の短縮
- ・DPC入院期間Ⅲ期及びⅢ期超えの縮減
- ・クリニカルパス適用率の拡大

②オペ室の効率的運用

- ・オペ室運用分析に基づく稼働率向上
- ・外保連指数の向上

③診療材料費の適正化

- ・ベンチマークシステムを活用した値引き交渉の強化

[参 考] 令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について (別紙のとおり)

記者発表（資料配布）

月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/17 (火)	西宮病院 総務部	代表 0798-34-5151 内線 3201	管理局長 安木 雅喜 (総務部長 正垣 雅士)	県政記者 クラブ

令和5年度 県立西宮病院の経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、入院患者の増加や入院単価の上昇により医業収益が 527 百万円増額となったものの、病床稼働率が新型コロナウイルス感染症の流行前の水準に戻らず、昨年度から約 900 百万円減少した空床補償補助金を補うには至らず、前年度から 366 百万円減少し、13,109 百万円となった。
- (2) 経常費用は、高額薬品の使用や手術用診療材料の購入増などによる材料費の増、人件費や物価高騰の影響による経費の増も影響し、前年度から 518 百万円増加し、14,137 百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は前年度の 144 百万円の赤字から 884 百万円悪化し、1,028 百万円の赤字となった。

区 分		単 位	令和4年度	令和5年度	前年度比較		
					増減	割合(%)	
業務量	病床数(年度末)	床	400	400	0	100.0	
	入院	延患者数	人	108,182	110,950	2,768	102.6
		1日当たり患者数	人	296	303	7	102.4
		新規患者数	人	9,725	9,983	258	102.7
		平均在院日数	日	10.2	10.1	△0.1	99.0
		診療単価	円	70,243	72,154	1,911	102.7
	外来	延患者数	人	149,571	147,278	△2,293	98.5
		1日当たり患者数	人	616	606	△10	98.4
		新規患者数	人	11,282	11,118	△164	98.5
		診療単価	円	19,999	21,034	1,035	105.2
経常収益	入院収益	百万円	7,599	8,005	406	105.3	
	外来収益	百万円	2,991	3,098	107	103.6	
	その他医業収益	百万円	207	221	14	106.8	
	医業収益計	百万円	10,798	11,325	527	104.9	
	一般会計繰入金	百万円	1,136	1,106	△30	97.4	
	その他収益	百万円	1,541	678	△863	44.0	
	合計①	百万円	13,475	13,109	△366	97.3	
経常費用	給与費	百万円	7,867	7,924	57	100.7	
	材料費	百万円	3,248	3,547	299	109.2	
	経費	百万円	1,870	1,906	36	101.9	
	その他医業費用	百万円	564	695	131	123.2	
	医業費用計	百万円	13,549	14,073	524	103.9	
	その他費用	百万円	70	64	△6	91.4	
	合計②	百万円	13,619	14,137	518	103.8	
経常損益③(①-②)	百万円	△144	△1,028	△884	—		
特別利益④	百万円	17	240	223	1,411.8		
特別損失⑤	百万円	4	39	35	975.0		
純損益⑥(③+④-⑤)	百万円	△131	△827	△696	—		

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 不整脈外来（令和5年4月）及び骨そしょう症外来（令和5年10月）の開設
- ② 手術の通則19（遺伝性乳癌卵巣癌患者に対する乳房切除術・子宮付属器腫瘍摘出術）及び遺伝カウンセリング加算の取得（令和5年6月、11月）
- ③ 救命救急入院料4の取得（令和5年7月）
- ④ 術後疼痛管理チーム加算の取得（令和5年7月）

(2) 施設・医療機器の整備

- ① CT搭載型ガンマカメラ装置（約138百万円）の整備（令和6年3月）
- ② 手術顕微鏡（約58百万円）の整備（令和6年3月）
- ③ 体外衝撃波結石破碎装置（57百万円）の整備（令和6年2月）
- ④ 全身麻酔システム（約36百万円）の整備（令和6年3月）
- ⑤ 移動型X線撮影装置（約27百万円）の整備（令和6年3月）
- ⑥ 脳外科用手術機械システム（約18百万円）の整備（令和6年3月）

3 今後の取組

- ① 西宮市中央病院との統合新病院の整備を推進
- ② 患者受入体制の強化による救急応需率の向上
- ③ 手術枠の見直しによる手術件数の拡大
- ④ 脳梗塞治療の強化等、循環器系診療の強化

[参 考] 令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記者発表（資料配布）

月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/17 (火)	加古川医療センター 総務部	代表 079-497-7000	管理局長 吉川 昭裕 (総務部長 八木 充宏)	県政記者 クラブ

令和5年度 県立加古川医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、新型コロナウイルス感染症の診療体制を維持した上で、一般診療体制の確保に努めたことにより、前年度に比べ入院患者数の増により医業収益は増加したが、新型コロナウイルス感染症患者受入れに係る病床確保料等の減少により前年度から3,030百万円減少し、12,738百万円となった。
- (2) 経常費用は、退職給与金等の減による給与費の減少や、建物等の減価償却費の減少により前年度から539百万円減少し、13,872百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は、1,134百万円の赤字となり、前年度からは2,490百万円の悪化となった。

区分	単位	令和4年度	令和5年度	前年度比較			
				増減	割合(%)		
業務量	病床数(年度末)	床	353	353	0	100.0	
	入院	延患者数	人	79,541	90,587	11,046	113.9
		1日当たり患者数	人	218	248	30	113.8
		新規患者数	人	6,261	6,869	608	109.7
		平均在院日数	日	11.3	11.1	△0.2	98.2
		診療単価	円	77,856	70,294	△7,562	90.3
	外来	延患者数	人	169,038	165,071	△3,967	97.7
		1日当たり患者数	人	696	679	△17	97.6
		新規患者数	人	8,612	9,214	602	107.0
		診療単価	円	21,686	21,604	△82	99.6
経常収益	入院収益	百万円	6,193	6,368	175	102.8	
	外来収益	百万円	3,666	3,566	△100	97.3	
	その他医業収益	百万円	206	251	45	121.8	
	医業収益計	百万円	10,064	10,185	121	101.2	
	一般会計繰入金	百万円	1,371	1,334	△37	97.3	
	その他収益	百万円	4,333	1,219	△3,114	28.1	
	合計①	百万円	15,768	12,738	△3,030	80.8	
経常費用	給与費	百万円	7,117	6,945	△172	97.6	
	材料費	百万円	3,384	3,358	△26	99.2	
	経費	百万円	2,160	2,174	14	100.6	
	その他医業費用	百万円	1,427	1,104	△323	77.4	
	医業費用計	百万円	14,088	13,580	△508	96.4	
	その他費用	百万円	323	293	△30	90.7	
	合計②	百万円	14,411	13,872	△539	96.3	
経常損益③(①-②)	百万円	1,356	△1,134	△2,490	-		
特別利益④	百万円	14	3	△11	21.4		
特別損失⑤	百万円	0	59	59	-		
純損益⑥(③+④-⑤)	百万円	1,370	△1,190	△2,560	-		

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 新型コロナウイルス感染症5類移行後の一般診療体制の確保
 - ・ 3次、2次救急受入れ体制の確保
 - ・ 初診紹介患者確保に向けた地域医療連携の強化
 - ・ 県かこ県民フォーラムや地域医療連携会議開催等による情報発信の強化
- ② 神経難病の入院治療の拡大
- ③ 入院サポートセンターの拡充

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 心臓血管連続撮影装置の更新（約149百万円）（令和6年1月）
- ② 手術顕微鏡の更新（約77百万円）（令和6年3月）
- ③ 総合血液学検査システムの更新（約24百万円）（令和6年3月）

3 今後の取組

- ① 救急受入れ体制の強化（外傷系2次救急患者の受入れ促進等）
- ② 県かこ県民フォーラムや地域医療連携会議開催等による情報発信の強化
- ③ 効率的な病床運用体制の構築
- ④ 病院機能評価の受審（令和6年10月）

[参 考] 令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記者発表（資料配布）				
月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/17 (火)	はりま姫路総合医療センター 経営企画部	代表 079-289-5080 内線 77021	管理局長 加藤 英樹 (経営企画部長 石田 智司)	県政記者 クラブ

令和5年度 県立はりま姫路総合医療センターの経営状況について

1 経営状況

- 経常収益は、年度当初にフルオープンし稼働病床を640床から736床に拡張したことにより大幅に増加したものの、新型コロナ禍後の受診控え等により患者数の伸びが緩慢となり、前年度比7,108百万円増加の31,174百万円となった。
- 経常費用は、業務量の拡大に比べ材料費・経費等の膨張を抑制した一方、減価償却費の負担が重く、前年度から5,351百万円増加し、33,581百万円となった。
- その結果、経常損益は、前年度から1,756百万円改善し、2,407百万円の赤字となった。

区分	単位	令和4年度	令和5年度	前年度比較			
				増減	割合(%)		
業務量	病床数(年度末)	床	640	736	96	115.0	
	入院	延患者数	人	174,383	218,267	43,884	125.2
		1日当たり患者数	人	478	596	118	124.7
		新規患者数	人	13,584	17,689	4,105	130.2
		平均在院日数	日	12.0	11.4	△0.6	95.0
		診療単価	円	94,908	95,365	457	100.5
	外来	延患者数	人	198,837	250,472	51,635	126.0
		1日当たり患者数	人	818	1,031	213	126.0
		新規患者数	人	18,007	22,056	4,049	122.5
		診療単価	円	19,996	21,885	1,889	109.4
経常収益	入院収益	百万円	16,550	20,815	4,265	125.8	
	外来収益	百万円	3,976	5,482	1,506	137.9	
	その他医業収益	百万円	376	498	122	132.4	
	医業収益計	百万円	20,902	26,794	5,892	128.2	
	一般会計繰入金	百万円	1,760	1,852	92	105.2	
	その他収益	百万円	1,404	2,528	1,124	180.1	
	合計①	百万円	24,066	31,174	7,108	129.5	
経常費用	給与費	百万円	13,516	14,838	1,322	109.8	
	材料費	百万円	8,026	9,890	1,864	123.2	
	経費	百万円	5,584	5,439	△145	97.4	
	その他医業費用	百万円	854	2,964	2,110	347.1	
	医業費用計	百万円	27,980	33,131	5,151	118.4	
	その他費用	百万円	249	449	200	180.3	
	合計②	百万円	28,230	33,581	5,351	119.0	
経常損益③(①-②)	百万円	△4,163	△2,407	1,756	-		
特別利益④	百万円	2,229	4	△2,225	0.2		
特別損失⑤	百万円	5,543	50	△5,493	0.9		
純損益⑥(③+④-⑤)	百万円	△7,477	△2,453	5,024	-		

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① オンライン診療（健康診断で要精密検査の判定を受けた方を対象）の開始
- ② ドクターカー運用の開始
- ③ 地域医療機関との医師直通電話（ホットライン、歯科口腔外科・消化器内科・小児科）の開設
- ④ 「息切れ外来」の開設
- ⑤ アブレーション実施体制の拡充
- ⑥ 病棟薬剤業務実施加算1・2の取得
- ⑦ 兵庫県立大学先端医療工学研究所との共同研究の推進

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 磁気共鳴画像診断装置（約182百万円）の整備（令和5年12月）

3 今後の取組

- ① クリニック訪問などによる地域医療連携の推進
- ② DPC対応力の更なる向上
- ③ ベンチマークシステムを活用した診療材料の値引き交渉の強化
- ④ FMラジオによる広報の強化
- ⑤ 臨床研究の推進

[参 考] 令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記者発表（資料配布）

月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/17 (火)	丹波医療センター 総務部	代表 0795-88-5200 内線 1321	管理局長 細見 和正 (総務部長 井上 弘之)	県政記者 クラブ

令和5年度 県立丹波医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、令和4年度にオープンした回復期リハビリテーション病棟の安定稼働、救急患者の受け入れ促進等による患者数の増加、手術件数や外来化学療法件数の増加等による診療単価の向上により医業収益は増加したものの、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金の減少により、前年度から493百万円減少し、10,307百万円となった。
- (2) 経常費用は、給与改定や退職給与引当金の増加による給与費の増加、手術件数や外来化学療法件数の増加に伴う材料費の増や、建物・機器の修繕、保守料の増加による経費の増などにより、前年度から476百万円増加し、11,176百万円となった。
- (3) その結果、経常損益は、前年度から970百万円悪化し、870百万円の赤字となった。
- (4) また、特別損失に計上される旧柏原病院建物の解体撤去に係る費用が減少したことにより、純損益は前年度から1,182百万円の改善したものの、1,008百万円の赤字である。

区分	単位	令和4年度	令和5年度	前年度比較			
				増減	割合(%)		
業務量	病床数(年度末)	床	320	320	0	100.0	
	入院	延患者数	人	93,686	99,959	6,273	106.7
		1日当たり患者数	人	257	273	16	106.2
		新規患者数	人	6,438	6,624	186	102.9
		平均在院日数	日	13.6	14.1	0.5	103.7
		診療単価	円	56,976	55,912	△1,064	98.1
	外来	延患者数 (医療センター分)	人	135,741 (119,656)	131,880 (117,117)	△3,861 △2,539	97.2 (97.9)
		1日当たり患者数 (医療センター分)	人	559 (492)	543 (482)	△16 △10	97.1 (98.0)
		新規患者数 (医療センター分)	人	19,732 (15,003)	17,265 (14,228)	△2,467 △775	87.5 (94.8)
		診療単価 (医療センター分)	円	16,168 (17,115)	16,285 (17,109)	117 △6	100.7 (100.0)
入院収益		百万円	5,338	5,589	251	104.7	
経常収益	外来収益 (医療センター分)	百万円	2,195 (2,048)	2,148 (2,004)	△47 △44	97.9 (97.9)	
	その他医業収益	百万円	404	397	△7	98.3	
	医業収益計	百万円	7,937	8,134	197	102.5	
	一般会計繰入金	百万円	949	929	△20	97.9	
	その他収益	百万円	1,914	1,244	△670	65.0	
	合計①	百万円	10,800	10,307	△493	95.4	
	給与費	百万円	5,290	5,541	251	104.7	
経常費用	材料費	百万円	1,823	1,894	71	103.9	
	経費	百万円	2,192	2,327	135	106.2	
	その他医業費用	百万円	1,157	1,160	3	100.3	
	医業費用計	百万円	10,462	10,922	460	104.4	
	その他費用	百万円	239	254	15	106.3	
	合計②	百万円	10,700	11,176	476	104.4	
	経常損益③(①-②)	百万円	100	△870	△970	-	
特別利益④	百万円	2	11	9	550.0		
特別損失⑤	百万円	2,291	150	△2,141	6.5		
純損益⑥(③+④-⑤)	百万円	△2,190	△1,008	1,182	-		

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① 回復期リハビリテーション病棟（45床 令和4年4月1日オープン）の安定稼働
（延患者数：令和4年度 12,552人 → 令和5年度 14,507人）
- ② 地域医療循環型人材育成プログラムの継続実施（平成20年10月～神戸大学に委託）

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 磁気共鳴コンピューター断層撮影装置の更新（改良）（約1億2千万円）（6年3月）
- ② 手術用内視鏡システム及び経尿道手術機器一式の更新（約3千9百万円）（6年3月）

3 今後の取組

- ① 丹波市ミルネ診療所、健診センター、訪問看護ステーションとの一体的な運営による患者の確保
- ② 消防本部との連携強化による救急患者の受入促進
- ③ 地域医療連携の強化
- ④ 地域医療教育センターによる人材育成の推進

[参 考] 令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

記者発表（資料配布）

月・日 (曜日)	担当部課 担当名	TEL	発表者名 (担当部長名)	その他の 配布先
9/17 (火)	淡路医療センター 総務部	代表 0799-22-1200	管理局長 高崎 徳子 (総務部長 水嶋 裕一)	県政記者 クラブ

令和5年度 県立淡路医療センターの経営状況について

1 経営状況

- (1) 経常収益は、新型コロナウイルス感染症患者受入れに伴う入院病床の確保、病床調整、手術制限等はあったが、前年度に比べ患者数の増加により、医業収益は増加したものの、空床補償をはじめ新型コロナウイルス感染症関係補助金等の減少により、前年度から 86 百万円減少し、15,907 百万円となった。
- (2) 経常費用は、患者数の増に伴う薬品費・診療材料費等の増加により材料費が多額となったため、前年度から 458 百万円増加し、16,361 百万円となった。
- (3) 経常損益は前年度から 544 百万円減少し、454 百万円の赤字となった。
- (4) その結果、純損益は前年度から 573 百万円減少し、486 百万円の赤字となった。

区分	単位	令和4年度	令和5年度	前年度比較			
				増減	割合(%)		
業務量	病床数(年度末)	床	441	441	0	100.0	
	入院	延患者数	人	121,420	125,673	4,253	103.5
		1日当たり患者数	人	333	343	10	103.0
		新規患者数	人	8,812	9,108	296	103.4
		平均在院日数	日	12.8	12.8	0.0	100.0
		診療単価	円	77,476	77,332	△144	99.8
	外来	延患者数	人	191,236	193,306	2,070	101.1
		1日当たり患者数	人	787	795	8	101.0
		新規患者数	人	13,341	13,569	228	101.7
		診療単価	円	17,165	17,662	497	102.9
経常収益	入院収益	百万円	9,407	9,719	312	103.3	
	外来収益	百万円	3,282	3,414	132	104.0	
	その他医業収益	百万円	185	188	3	101.6	
	医業収益計	百万円	12,874	13,320	446	103.5	
	一般会計繰入金	百万円	1,698	1,657	△41	97.6	
	その他収益	百万円	1,421	930	△491	65.4	
	合計①	百万円	15,993	15,907	△86	99.5	
経常費用	給与費	百万円	7,894	7,898	4	100.1	
	材料費	百万円	4,272	4,587	315	107.4	
	経費	百万円	2,318	2,473	155	106.7	
	その他医業費用	百万円	1,129	1,135	6	100.5	
	医業費用計	百万円	15,614	16,092	478	103.1	
	その他費用	百万円	289	268	△21	92.7	
	合計②	百万円	15,903	16,361	458	102.9	
経常損益③(①-②)	百万円	90	△454	△544	-		
特別利益④	百万円	2	0	△2	0.0		
特別損失⑤	百万円	5	32	27	640.0		
純損益⑥(③+④-⑤)	百万円	87	△486	△573	-		

※1 金額は税込み。計数については、百万円未満四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

2 診療機能の充実や施設・医療機器の整備状況

(1) 診療機能の充実

- ① アンギオ室の診療機能充実及び不整脈治療（アブレーション治療）の効率的運用
- ② 地域連携クリニカルパスの充実
- ③ 手術支援ロボットの導入

(2) 施設・医療機器の整備

- ① 全自動生化学免疫分析搬送システム (約79百万円) の整備 (5年5月)
- ② 全自動ジェット式洗浄装置 (約13百万円) の整備 (5年6月)
- ③ 内視鏡手術支援ロボット (約330百万円) の整備 (5年7月)
- ④ 医療用直線加速装置 (約430百万円) の整備 (5年8月)
- ⑤ 基幹系バックアップ装置 (約18百万円) の整備 (5年9月)
- ⑥ 自動採血管準備装置 (約39百万円) の整備 (5年11月)
- ⑦ フラットパネルディテクタ搭載型モバイルCアーム (約14百万円) の整備 (5年12月)
- ⑧ 低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌併用高圧蒸気滅菌器 (約15百万円) の整備 (6年3月)
- ⑨ 患者Wifiシステム (約17百万円) の整備 (6年3月)

3 今後の取組

- ① 手術支援ロボットの効率的運用
- ② 血管造影X線撮影装置更新による早期運用開始
- ③ 手術室の効率的稼働及び適切な病床管理
- ④ 新規・上位の施設基準の取得
- ⑤ クリニカルパスの見直し、DPC入院期間Ⅱ以内での退院の促進
- ⑥ 地域医療連携の推進
- ⑦ 価格交渉の強化による診療材料費の節減

【参 考】 令和5年度 兵庫県病院事業の経営状況について（別紙のとおり）

